

增補

奇枕秋寒夜覽

都宮
水鄉

里寺雜

八



○都

卷之二

日記の下に月日を記す。中間の二行は
平成の年号である。

主
數のうち開
始のうとあるま
めのねどりを勢力内
かれて、主に實
の敵をとおはるが内訌勢

卷之三

卷之三

卷之三

卷之二

東坡集

太和 奈良

あく乃村

萬 梅

日 花

鳥

浦

櫻

山

里 宮 道

萬 津

日 游

月 道

宮

月

通

月

道

万 あらも 大路 きの まよひ 落合 みよひ 坂月
里 日 宮 日 道

古川とならぬあらもむらにあつたて落合の内
今るは里とゆいてにこよもとのれもうむゑえまう

落合 離波

日 おほえの離

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日

通

月

萬 あらも 津 日 游 日 道 日 宮 日

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

落合 離波

日 あらも

日 絶

海

鳥

沖

日 江

浦

日 深

月 幸

日 通

月

・奈
・即
・舊原

神武天皇の御靈應畠傍山をひよまく

宮はうとううねひた宮とゆゆ

天地の神代からひづれまゐりて

脛弓を用

佐々木吉

のゆくのゆくの宮 無休モミの宮也

老店

佐々木吉

ウヤまたあとのまへしよはうそりて

甲斐

柏枝

佐々木吉

ウヤうえのま もうとわくせきひをえぬかし

高月

吉野

佐々木吉

ドウガ宮 トミモ 那 ム 蔵 三根谷 河尾

万九

高月

佐々木吉

里 佐々木吉

万九

高月

佐々木吉

祐代ひりよのまよめくもひだりやね川を乃

万九

高月

佐々木吉

万九

高月

佐々木吉

万九

高月

佐々木吉

万九

高月

佐々木吉

ミノの神つき衣被とくじくいきまくはゆる

万九

高月

佐々木吉

・奈
・即
・舊原

杜あり

高月

高月

佐々木吉

萬葉

高月

・奈
・即
・舊原

萬葉

高月

・奈
・即
・舊原

萬葉

高月

・奈
・即
・舊原

萬葉

高月

・奈
・即
・舊原

萬葉

高月

・奈
・即
・舊原

萬葉

高月

・奈
・即
・舊原

萬葉

高月

卷之三

卷之三

卷之八

榮里

継承天皇の御居也

瓦六
月
あゝ即ち那波のまゝ海をもよしやうの生原とゆふ
長柄
助の實 孝德天皇の御上洛也 桜 一丁半道派

浦 漢 ウツモミコト
上右馬

・やまの宮 里山
山神

飛鳥
八重宮乃西入

松本味經

あらしの宮原

あらしやの神もあらす風とひくみまをあらかじめ

サ優塾室

鳥

近江

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥

佐賀

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥

和歌山

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥

丹波

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥

奈良

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥

福井

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥

岐阜

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥

三重

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥

鳥取

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥

福島

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥

滋賀

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥

京都

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥

愛知

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥

奈良

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥

和歌

あらしの宮

さるのゆき

月

水

火

風

雷

○郡 増補

淡人著

鳥・いののね

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥・土岐

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥・伊勢

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥・鶴

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥・鶴のね

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥・鶴のね

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥・名取

さるのゆき

月

水

火

風

雷

鳥・いののね

さるのゆき

月

水

火

風

雷

正統
續編
卷之二

無事の後既乃出でまし

年

宇和

うとの船

宇和

おとこの船

宇和

○里

ホコヒリ初生川

ホトヘイ

ホホホリ川ホホホリ川

ホホホリ

ホホホリのシテホホホリのシテ

ホホホリ

ホホホリのシテホホホリのシテ

ホホホリ

ホホホリ万葉のシテ万葉

ホホホリ

ホホホリ萬葉のシテ萬葉

ホホホリ

ホホホリ萬葉のシテ萬葉

ホホホリ

ホホホリ萬葉のシテ萬葉

ホホホリ

ホホホリ萬葉のシテ萬葉

ホホホリ

ホホホリ萬葉のシテ萬葉

ホホホリ

13
萬泉河里山楂川水松
今里櫟子一枝杏子
和班鷺基本
何稻葉
生田
山楂川水松
山楂子山楂川水松
石田
紅豆
油田
老油田
老油田

但

伊庫師イニ五郎ヒテ
増補科ノ行方

紀伊

いはの里・佐和田山の山のへとくまの山のへ

・ひもれ里・えりのー・ひさる

・五日あらわの里はひはのたんとすやほと自憐

・原作

近江

・ひもれ里・えりのー・ひさる

・ひもれ里・ひさる

近江

・ひもれ里・ひさる

常盤 葉山

よまとまの里 はくとふー 月 日 ものめ

あら

進
花植

お茶古

え後

とまの里 ひまの里

お茶古

お茶

進
花植

お茶古

お茶

進
花植

お茶古

お茶

進
花植

お茶古

お茶

進
花植

お茶古

お茶

進
花植

お茶古

お茶

進
花植

お茶古

お茶

進
花植

お茶古

お茶

進
花植

お茶古

お茶

進
花植

お茶古

お茶

進
花植

お茶古

お茶

進
花植

お茶古

お茶

・これもひでやとよきのれどからに山れどうめりと
 和外山
 とよの里 摂衣 梅も 秋原里 徒合 信宿へ
 藩
 われ峰とよの里やあらんの處のまくものかと
 いふ
 としらく小移 美あらもて勤用せぬはまも里なり
 五七
 佐古のを黒小移のまくものかと
 いふ
 三所 こよ川の里 風もさすまは橋とて神ささなたを川乃里
 佐常夏
 とよみの里 やまとて
 ま木
 ま木とよ植うれのうわて候えむれどここかられさて
 藩
 とよみの里 けよわ民のまよやとよけはばのりうれを春の里
 長内 そ浦
 とよみの里・官
 お堂
 白山の三あくとよみの里とよみの里とよみの里
 佐同

・とよみの里 摂衣 梅も 秋原里 徒合 信宿へ
 丹
 丹波 千年 薩
 ちとせよの里 花
 天不
 とよみの里 佐古
 佐古 音羽
 とくへの里 佐古 薩
 川口 売口
 繁
 とくへの里の里とも 佐古 摂衣 薩
 小倉 佐古
 とくの里 佐古 薩
 朝 佐古 梅 摂衣 薩
 金 佐古 梅 摶
 その里 佐古 のふ里 佐古 梅 佐古
 そち 薩
 金

かののとどうつひてまちがはとの里へきこりと
月・愛宕主本
をそひの里主本わ圓のせのめがれゆきどひの里太官
陰岡部月主本
きく乃里万和元万四月月月月・けく・松

えく乃よ發合森萬萬

あら吹きの里れかの明々新月月月・
狂小山そよまの里主本

教本主本かくやかの里主本月月月月・
雄琴主本そよとの里主本月月月月・

ねうそれをそよの里主本月月月月・
小田主本ねうそれをそよの里主本月月月月・

きく乃里万海万月月月月・
さう

まうれとあがみとほすとそぞの里主本月月月月・

居後居後と紀の里石御溝うらの浦主本月月月月・
紀行奇行物うるさきの浦主本月月月月・
をそくかくれ里主本桔衣川瀧主本月月月月・
あゆ諸万古を里主本をゆくの里主本月月月月・
伊申和波霸を里万古をゆくの里主本月月月月・
桂桂うづ乃里古冬うづ申かく里主本月月月月・
えううの里主本照月のいも主本月月月月・
卯花日葵愛主本・鶴鳥主本・梅承主本・月月月月・
松虫桑桜衣主本・春主本・秋主本・冬主本・あじよ主本

主本主本大井川主本月の瀧主本川瀧主本宮月月月月・

今宵つる林乃里の月、紙もすずらひのとぞうとのよしにむか
 隊高野 ま本高野
 ひとの里春日 委高野
 うすの里万 委高野
 和高野 ま本高野
 うすの里万 委高野
 神高野 ま本高野
 神高野 ま本高野
 神高野 ま本高野
 神高野 ま本高野

・原日・神日・古日・跡日 こをまひ後合
 藤野日
 二松亭をまきひうすとまの里日のあけいが
 うすの里日 ふきり川日・岳日・湖日・杜日・神日
 情きせん林つまつとひくふ處日と神日の里
 文野日・高木日の建日・山野日・山野日・山野日
 かこの里日・高木日の建日・山野日・山野日・山野日
 懸河日・高木日の里日の居日のよ處日ちはおまの處日の處日
 うすの里日・高木日の里日の内日ふくとすと布日とけ所日の里
 錦倉日
 うすの里日・民日・戸日・ふきり

・えむねづかはくを万代令くらへ等日をほくアノヒトと
 美作高野 霜高野
 ゆどみの里秋吉田志志谷 五郎高野 塔の梅高野 浦の蘋高野 碧高野
 告高津 うすの里秋吉田志志谷 めらと高瀬高野のてにまきひくは室日と
 美作高野 箱庭高野 まくらと高瀬高野のてにまきひくは室日と
 せきねの里秋吉田志志谷 まくらと高瀬高野のてにまきひくは室日と
 麻生神田 うすの里秋吉田志志谷 千葉縣神田の里日は端日と月日もとまゆるする也
 美作高野 うすの里秋吉田志志谷 鶯高野 那須川日・深日・入日
 美作高野 うすの里秋吉田志志谷 稲高野 と川の里秋吉田志志谷 はくとと魚高野 とくと
 吉野日 うすの里秋吉田志志谷 神高野 村日 東日 跡日 宿日
 吉野日 うすの里秋吉田志志谷 古日とひらの里秋吉田志志谷 はくとと魚高野 とくと
 佐野日 うすの里秋吉田志志谷 稲高野 と川の里秋吉田志志谷 はくとと魚高野 とくと

城下

城下

城下

城下

城下

城下

城下

城下

城下

・宿日・谷日川日

東

・宿日・谷日川日

抄衣

雪

・寒

・寒

・寒

・寒

古木や山林より遠き日も又あるかくね日もまた
のふの雲もほりほりと山をひくからゆきう
朝朝有明の日と夕方またにようの里はるる白雲
いつまでもすこむとわう

梨

吉見

・吉

尾

夜寒

・夜

・梨

・吉見

・吉

・梨

・吉水

・吉

・梨

・吉水

・吉

・梨

・吉水

・吉

・梨

・吉水

・吉

・和
立田
立田の里 石 猫系 月 とわう 川

石 日 家 日 阴 日 道 日 杜 日 里 日

落
立田の里 石 猫系 月 とわう 川

高安
たとやとの里 石 日 月 宝 日 い風日 立田 日

本
あらそとおれ衣打ひぬ枯風さむとまや安乃里

高井
あらせの里 川 猫系 沢 日

高井
あらせの里 石 猫系 月 とわう 川

詠歌

かく人のへよとよとて君をがつにゆるゑかの里

田中 田中 あ あ 日

かうの里 熟 熟

日

尾張 比奈
竹原の里 佐々木 海月 須川 綾川
伊勢 谷町
三河 久保川 川井和 田口 田中 那
伊豆 長田
竹原の里・早苗・柳 田中和
美濃 梅原
・山口の里 梅 久保川
丹波 向日
竹原の里 佐藤
・山口の里 金井 佐藤の答 久保川
・山口の里 金井 佐藤の答 久保川

藏文手稿

家

かその里

鳴

古

陸

故冬

雲

雲人

古

川

古

・後

波

日

中道

川あり。後房日波日海日と田日中道の

山あらきのカその下草

河内
野口

のくら氏里一をまめ。尾花。勝狩野

新井
野口

あらわに跡の西へ宿つておはせに今そぞらり

新井
野口

のうめ里。二處。うらひと。君。旅。宿

え

かその山。鷺上のうめの後り

一豆沙

しきそく。野山の風と山のあらゆる室のやううにまうり

佐平
野山

のやまの里。あらわくとみの野と山里へひづの風がすとまく

肥前
野坂

のうめ里。万。あらわの。一。持衣。君。松浦。宿

のうめ里

あらわの。一。持衣。君。松浦。宿

・おもひてお湯間をあらひの砂波の里へこうもうちながら
・あらわの里を宏那とよむ。波をふほう。おれ。うう
・森。石。おま。麻。月。お。ひらは
・ひらは。岸。岸。おま。麻。月。ねね。後古
・わき。木の巣う波。ううべ。里。大原。お
・波良。波合。八波。日。瞳のまくら。ひまわ。川。内
・みゆき。人波とよ。巣うま。煙ひく。ねね。かづ。乃里
・おなづの里。し訓那。つねすまれ。四。月。五。裏
・小坂。千。みゆき。神。日
・大荒木。大原。おなづの里。サ。里。五。月。五。裏

浦の里

まほ 月夜をあきらめぬよと見てわけれどやうふくの里人
山科 まーの山田 日 梅・夕立・鶯・三芳・松

やまうの里 の里とも

こかく

まきわせ 花合 ふうきわ

おみを うそとおもてよめくすとたにしてひやねーな乃さで

やせ乃里 せの まつま

牛 川 カウ

まふ 月夜をあきらめぬよと見てわけれどやうふくの里人
八坂 まーの山田 日 梅・夕立・鶯・三芳・松

やまうの里 まーの山田 日 梅・夕立・鶯・三芳・松

やまうの里 まーの山田 日 梅・夕立・鶯・三芳・松

魚 カウ

まほ 草原の歌とよむ歌とよむの里へまじりうまうり
火吹手 まーの山田 日 梅・夕立・鶯・三芳・松

やまうの里 まーの山田 日 梅・夕立・鶯・三芳・松

山苗

山 矢矧
やまうの里 ゆく様 ううの妻・山のまやの行
名寄 まふ
おひるや矢矧の里めうれつまさみゆもせあんくまうらも
甲斐 まふ
やまうの里 梨・月 みかづ 星 日
山梨
やまうの里 まーの山田 日 梅・夕立・鶯・三芳・松

曾爾

まふ

山苗

・^{古和}波さ乃里

年と深すの里

船を飛けた事一ふ世の

年と

晨風移近

きわせ里

鶴

きくすとくの里

一木主佐

近益素

旅宿於モ

・やかまぜりや五郎もとまでをねまへます草木の里

・お源

あき

・あきの里

あき

・あきの里

ま木

・まの里

ま木

・あきの里

ま木

・あきの里

あき

月

・^{古和}保草

・^{古和}月

・^{古和}日

・^{古和}夜

・^{古和}月

・^{古和}日

・^{古和}夜

・^{古和}月

・^{古和}日

・^{古和}夜

・^{古和}月

・^{古和}日

・^{古和}月

・^{古和}日

・^{古和}夜

・^{古和}月

・^{古和}日

・^{古和}夜

・^{古和}月

・^{古和}日

・^{古和}夜

・^{古和}月

・^{古和}日

・^{古和}夜

あさくすをとひて

・布計

・まお

・和伏見

・ふの里

・古

・とくらや一

・おれ

・日

・湖原

・廉

・おお

・株衣

・おお

・日

・翠

・おお

・日

・碧

・おお

・日

なき
かのこのりはせりにしまひわれとひまはれと

あまこむすよどり

柏野

いの里　夙　ふるき　跡　日　海　日

まほ

くらきをねぐらととてつるひの風の里れ烟けりうり

久我

こゝの里　麦　大　日　お葉・おそれ　杜　集

日

小篠

立日角の歌の里と千葉で夕ゆきのこゝの里人

小篠

こづく里　雑子　炭　火

日

小篠

跡の木あらわするけ島の下峰う里に紹子門うち道

新

こめれ里　鹿　梅　梅　印　花　波　二村　集

日

出治

名寄　立帰りうれしゆうん様　れ衣乃里　水　向　月　は

出治

こすの里　鶴　跡　月

日

井　日

本葉

このへ里

木葉

高　木　葉　森　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉　木　葉

曾甫大

次

合

合

合

合

合

合

合

合

藤原

芦屋

北

日

月

年

方

月

月

年

あやの里

北里

日

月

年

方

月

月

年

年

五月

あやの里

年

方

月

月

年

方

月

千鳥

北里

日

月

年

方

月

年

紀路

北里

日

月

年

方

月

年

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

日

北里

日

月

年

方

月

年

方

月日 沂山 有あり 石舟 里のう わらび 安積

卷之三

卷之三

さ来て中火皆へてお部屋のあらの里に旅してから
宿 穴臺 久
わかれ里 あゆあきは堂やくらと人のふれむ社有れ
記年 秋仲
所里 帝室の庚日甫月

卷之三

篠原 芦屋

癸未十月松波子船

あゆ
阿登村

やわらかく出でて、さわやかにひらく、さわやかに
あふる、
廉のうぶが、おもむらもあけで、ゆきのとぎの雪

朝原
の里

卷之三

稀井

卷之三

三

100

卷之三

水華記

卷之三

・又源を以て
篠更役
の事

月を吹き廻り 鶴 楊柳・月・霞

卷之三

吉
をひそめ復合・ふるみ

卷之三

卷之三

書翰 佛學居士
吳昌碩

甲子年正月
布施とくわらの里のんとくわらの
おもてなし

氣
附
卷

古方
萬物
萬物
萬物
萬物

卷之三

木レ

ま木
木作河原の里をさへ川乃里と云う様と呼ぶれど
姓
姓箕
いだこの里 黒木 有
万士
立木の里に姓を有してある後よりあるか
吳昌郎 高木 有
もの里 それとも 沢井 郡義 稲田
日

入日 本日

木戸
木戸の里には姓を有してあるよかの事あら
内
箕
足乃里 足寄の里ともみの里とも云ふの事あら
奈
三輪
三輪の里 三輪 うじひと あ松 櫻衣 ふき
日

川口 市口・田口

名寄
名寄の里を野ウミの里人れぞうあるひあらから
日
三笠

木之口の里 松 防風丸 木口 杜口

内木

木之口の里 木之口の里人れぞうあるひあらから
日
木之口の里 木之口の里人れぞうあるひあらから
日

船川直
船川直 木之口の里人れぞうあるひあらから
船
水產
水產の里 開き・菊・月・桔衣・八幡ひじりの里
木本
木本の里 木本の里人れぞうあるひあらから
高
見付
見付の里 木本の里人れぞうあるひあらから
鷺
鷺夜利
鷺夜利の里 櫻の木本の里人れぞうあるひあらから
里
身延
身延の里 木之口の里人れぞうあるひあらから
木之口の里 木之口の里人れぞうあるひあらから
木本
木本の里 木本の里人れぞうあるひあらから
相模
相模の里 木本の里人れぞうあるひあらから
水
三吉柳
三吉柳の里 木本の里人れぞうあるひあらから
足
足下の里 木本の里人れぞうあるひあらから
桑
桑の里 木本の里人れぞうあるひあらから
日
日之内 木本の里人れぞうあるひあらから

西界

仲正

木口

木口

木口

つまも本すよひとねり

道 三津 みの川里 滨 真和 海 日 川 日 桥 日 滨 日 酒 日

万代

山海やまねをゆくにておまかづくし みの川里 里人

事多 斎

五頭ぬくわくともむねのまは門のまへひそむとぞ

三の里 三尾古

三多の里 墓のまわらはるはるのあべと門のまづろまわり古里

鐵 白川

あくべの里 うくひと うくひと うくひと うくひと うくひと

和泉 信太

ふのくれ里 杜 真和

峰 有賀

つまむるる師の渡れ波へわれとおのれ里も渡れまく

告 有賀

あくの里 一の古 玉 梅 花 康 櫻紋・右 ふ鶴

金葉

風のまねのまき風まく風まく風まく川の里

経法 有榮 清芽 川 真和 鮎 日

浦 日 海 日 郡 日 寺 日

六裏

はな色てねまくわいへたなりのを恵うれすちがまの里人

源 貨承

あくの里 旅 桜紋 金 ま まみは 桂 え

お勤業

じのかとゆまにうほくとくわくわくちくわくの里

信玄 清水

あくの里 旅 桜紋 金 ま まみは 桂 え

賛 信玄

あくの里 ふ吹 和花 桜 桜紋・月

強 信玄

あくの里 藍 里人 海 真和 川 日 市 日 島 日

○村 綿林を村といひをも村くみそとて

称とも世人のよみあはざなむ後り

村乃住人 里のいそ 一そ じのいの村
入の村 いそく きの村

霞 宝根 いそひれ村 遊有園 ふるいそひれ村

・越前はくまんをすうのそれより方ばまをみ

霞 稲村 いそひれ村 遊有園 ふるいそひれ村

・越前はくまんをすうのそれより方ばまをみ

霞 岡崎 いそひれ村 遊有園 ふるいそひれ村

・越前はくまんをすうのそれより方ばまをみ

霞 泉 いそひれ村 遊有園 ふるいそひれ村

・越前はくまんをすうのそれより方ばまをみ

霞 石倉 いそひれ村 遊有園 ふるいそひれ村

・越前はくまんをすうのそれより方ばまをみ

霞 佐木 いそひれ村 遊有園 ふるいそひれ村

・越前はくまんをすうのそれより方ばまをみ

霞 佐木 いそひれ村 遊有園 ふるいそひれ村

・越前はくまんをすうのそれより方ばまをみ

霞 千枝 いそひれ村 遊有園 ふるいそひれ村

・越前はくまんをすうのそれより方ばまをみ

霞 千枝 いそひれ村 遊有園 ふるいそひれ村

・越前はくまんをすうのそれより方ばまをみ

霞 千枝 いそひれ村 遊有園 ふるいそひれ村

・越前はくまんをすうのそれより方ばまをみ

霞 吉身 いそひれ村 遊有園 ふるいそひれ村

・越前はくまんをすうのそれより方ばまをみ

霞 吉田 いそひれ村 遊有園 ふるいそひれ村

・越前はくまんをすうのそれより方ばまをみ

霞 高根 いそひれ村 遊有園 ふるいそひれ村

・越前はくまんをすうのそれより方ばまをみ

霞 立入 いそひれ村 遊有園 ふるいそひれ村

・越前はくまんをすうのそれより方ばまをみ

田中 高田 長良 岩井 長良 田中 高田 長良 岩井

たぐれ村 稲

天のトガ社が社父ちるやかの村ひまねく社をかに

國房

玉乃村 桜

丹波長良 岩井

あいの村 桜衣

丹波長良 岩井

けりとひけりとみの村がくの村はくひの村

雲居

かく村 里

木本 長尾

かくの村 里

雲居

春宿宿

宿宿

○寺
山一塔一塔一塔一塔
一の塔一の塔一の塔一の塔
塔一塔一塔一塔一塔
塔一塔一塔一塔一塔
塔一塔一塔一塔一塔
塔一塔一塔一塔一塔
塔一塔一塔一塔一塔
塔一塔一塔一塔一塔
塔一塔一塔一塔一塔

一
あきのうたのあつてわづく・このふー

・入一・あつて・やまつて・さあ

・わづみのた・かの相・うつゆのね

・おとみのた・かの相・うつゆのね

奈
石上

いそのうちだすくも

花・おとみ

・おとみ

月・河内・達乃美

未

者よりうぐいんを今れどなよからひそのうぐいん

・いもて 住勢のまよを勝就うきのせよれまよ

三昧堂のかげ見のやうるをういはりうらば

けうりとみてよあら

未
金子

迷ひのやのやまとひゆる松風のまや吹てまよ

未
金子

いとゆく寺

三
金子

いとゆく寺

・いとゆく寺

未
金子

いとゆく寺

・いとゆく寺

未
花

いとゆく花のまき

・花・後・附・弓・ふ・か

未
花

いとゆく花のまき

・花のまき

花 西林寺

詩集

小のち

花

月 満月

水・氷・雪

さき

花

月 満月

水・氷・雪

作 織 苗・ふ伏の葉・さへ 桜乃葉

日 滅年

筆者 あはせ後金 初秋 日

筆者 うさかとうさかの秋乃月あははる年を朝を社され

筆者 長樂

花

月

水

廉

筆者 うらやうらやす 風

上 東 国 事

筆者 横川

花

筆者 うらやうらやすのひのくは人の件よりはうりけり
筆者 わいひよと慶こうするの意にておれのまことはまく

筆者 うらやうらやすのひのくは人の件よりはうりけり

筆者 小倉

花

筆者 上 東 国 事

筆者 うらやうらやすのひのくは人の件よりはうりけり

筆者 うらやうらやすのひのくは人の件よりはうりけり

筆者 風雅

花

筆者 うらやうらやすのひのくは人の件よりはうりけり

筆者 うらやうらやすのひのくは人の件よりはうりけり

筆者 小倉

花

筆者 うらやうらやすのひのくは人の件よりはうりけり

高
高安
たるやと
紀伊
たる野

往り又の晚と後の二令の晚と

と出で御用

善

双

うへ乃
善

幕

善
幕

かのやうの星止とも引け月を氣すも

松全

額のら

善井

善

今より往りかうかんかのまへ入りと見

喜

善

額のら

善井

善

雲居

くすのきす

・鹿

・柳

・月

吹貝

まよ
・ふ橋花のいろにあらそやあらさわはらうるく

奈和
・科

松

参

あらひのつゆの葉がり松すすめとわみけてとく

持落
・粉川

紀弔

こくひち

たまごの種をほじまがむやのうたのうぐとく

かす
・かす

山

参

あらひのひじのひたすらねりりかくめあらひきの

後
・川

葉

参

あらひのひじのひたすらねりりかくめあらひきの

御祓のものまつりとあのおま乃とまつりをすて
おとづれの祓ひいはしうはせのかはらひづる

三井古

あめのつも 桃 月 三井 一の山 一の山

鳥 真如 そはやまのちもひわくと者かくろおひづるえと

・山 あんみよ堂 ひまわりのまつりはちりやまの山の社

・志賀 さうの山 ふきゅう 浦 日 花屋

・薺 あくら はまのまつりとあらはし夕拂きまつりひま

・前 清水 あら川 おととめのまつりとあらはし夕拂きまつりひま

・敵 比敵 まほのまつりとあらはし夕拂きまつりひま

・ひえのまつり ほのかばがわの世とあらはし夕拂きまつりひま

・禪林 ロンアキ ほのかばがわの世とあらはし夕拂きまつりひま

・口 おととめのまつりとあらはし夕拂きまつりひま

・葵 あさり ほのかばがわの世とあらはし夕拂きまつりひま

近古

・山 あさり 川 囲

・山 あさり 川 围

・山 あさり 川 围

・山 あさり 川 围

○社 并宮神

みりやう 神の社 まみの 神のみも

みりやう 神の社 まみの 神のみも

みりやう 神の社 まみの 神のみも

・山 あさり 川 围

・山 あさり 川 围

神

神社

神の主

神主

神主・神社・神の主・神主は
かみのまへ・まこと神・ひきとすらる うちむ
ちむ・やつぐるえ・らうじゆるえ・うみの
宮人・あらの西・室方の社ひあまう神 神の
もも・八百万よられ神から・海アチヒ神
神乃をとる・えとじうれ続・中戸のゆすて
ちむの海・まくの東・あねすくまきは
みちが乃社・くより神・神をこの神・神乃
まよどりと大・ちか乃社 神ハ尼ミテ・み
まくある・やハ内ゆて・トコロは神・うる
まくす・まちの神・ひりわき・おれさま

やそのは神・ひりけのひすに・神やりこ・木の
ト彦乃ア社・かきまく・もやうて・ま
やう・まくられとうふ・八乃のふ・あつ神
ひ路のひぬ乃神・まねつみうり・神のんと
とも・神やうい・あらの西へ・うみわくと
神のまく・神のうひ・神のひく・あり
のまく・らむ・ねこ・ま井・神のまく
のまく・石清水

まく・まくの夜・まく・細原・月・松・若・青
まく・まくけ・まく・神のまく・神生今・まく・まく・まく
まく・まく・まく・まく・まく・まく・まく・まく・まく・まく

みの宮 マニミササギ まん人 マニミササギ 風まつりやて・葉ゆみ
マニ
 あら海よ風ふきよいのまわまほのまやまひとすすめ
マニ
 にアミ マニ 日本の社マニミササギすまむすめに二宮代
マニ
 やくもうけをかこひくすむちたのひづれをひきもせ
マニ
 佐勢 マニ こよの宮 マニミササギ 宮人

族名撰 いまくがまとをのまづらかはきをさかひるく

姓 ちくふ翁

名号

傳説

日

社相

春集

の社

春日

かどりの社

梅

神木

松

柏

木

門松

二月

の初申

神木

柏

木

の社

正月

の神

松

柏

木

星の作

あはれとあらわすやうな秋の作やうてよん

吉田

海古

村あり 里 日 阳 日 春 日

水を

ひらうなよしのまづく風のかなうりつ

日 勝

勝

今うゆきもかみめうきのほのまはいひ

日 ひめす波

波

今うゆきもかみめうきのほのまはいひ

さうと往る。直吉の。ハネ様。日

スルタナム
ハシタ
ミタマリ

卷之三

卷之三

みのとくもハしち波ともり
まくわせを七の社乃々とひたけともとのむよ／＼
井波長
かづかの宮
梅
しらの宮
あそぶの林
林
宮柱
今花咲梅の木れどもとよき乃所もゆめく
美陰絆
とくのみ
詠
あ葉
アヒの木れどもとよき乃所の木もやえとよく
太和
浮雲
さくらの宮
苔壁
しのぎの木れどもとよき乃所の木もやえとよく
信房
内外
うらのま
玉ぐるべ
月
あね
もくは葉
御風
八の不藝
林

五 檜葉
 八千瀬
 細
 傷
 月
 芳
 八百相
 雨
 氣

楠
 八千瀬
 細
 傷
 月
 芳
 八百相
 雨
 氣

楠
 八千瀬
 細
 傷
 月
 芳
 八百相
 雨
 氣

楠
 八千瀬
 細
 傷
 月
 芳
 八百相
 雨
 氣

楠
 八千瀬
 細
 傷
 月
 芳
 八百相
 雨
 氣

和布留
 山の辻
 様
 木
 山
 事
 伊
 事
 事

和布留
 山の辻
 様
 木
 山
 事
 伊
 事
 事

和布留
 山の辻
 様
 木
 山
 事
 伊
 事
 事

和布留
 山の辻
 様
 木
 山
 事
 伊
 事
 事

和布留
 山の辻
 様
 木
 山
 事
 伊
 事
 事

おのやの中からあらひの江からてのゆきをつゝ社と

往るよし

拂は 東 高社等

・おひの神 世より御の神を守るわざも

・あひの神 一本生糸 二

安井作

拂は 東 高社等

・おひの神 世より御の神を守るわざも

・あひの神 一本生糸 二

・ありと成せ林 多 さうのまへるやれをよみこむと大あらわ
集 櫻 後古今 そうのまへるや 韶風さうふう おもてとつねのまへるや
旅 清庵 あらわん

力山記行官 千

松

かのくちをとぞ見るがくにせんのせんにかのく

貴 後 古 林

川のまへる まへる 林 まへる まへる

川 まへる ふ まへる 川社

森

しのまへるからたまめの桜のむらくわてもあらぬ出代の

北野

さくらの宿

花 まへる

あ まへる

わ まへる

わ まへる

木 まへる

松 まへる

一 まへる

松

かのく

くわきの

スイ

四 日 里 日 市 日 游

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

後成

後成

後成

後成

後成

後成

後成

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

皆

聖

比叡の社あり。ゆづれすと。御幸。

庚辰

日吉

の宮閑社だ。らうや振り。天香。

庚辰

天香。

庚辰

天香。

天香。

七乃内。八女のつれ。はまの戸。ゆきのきぬ。

七乃内。八女のつれ。はまの戸。ゆきのきぬ。

七乃内。

小ひえの秋。もみの霜。休合。休合。

小ひえの秋。もみの霜。休合。休合。

記伊

いのくまさん。

餅

わしのえ。

餅

すきの餅。

餅

餅

記伊

ひのくまさん。

餅

わしのえ。

餅

すきの餅。

餅

餅

餅

記伊

ひのくまさん。

餅

わしのえ。

餅

すきの餅。

餅

餅

餅

大和 杉社 桜
音原 住吉
 トムトム 宮 神 朱のよしき うきよえくさん
 神のよしき。ゆかすた。波すた。弓月。高
 あ葉・虫 さの・苔・葉・虫・虫・虫・虫
 里月・満月・渓月・冲月

大和 杉社 桜
音原 住吉
 西の海のへなぶる波すた。波すた。弓月。高
 雪須蓋鳥 木本
 じののとすすみのねぐらとおちかのとせう。波すた。波すた。

增補
雜

此後ハシ野海川ノ付近ノ不材名湯
の寺古美ノ山也

絕代公門子

卷之三

鳥食
事

らうのまわく處
事も怪しきのゆゑ

卷之三

卷之二

卷之三

十四

卷之三

持休處安隊

卷之三

卷之三

卷之三

藤小波万
一
本

卷之二

隆神 万九
そりうそをのぶよ

津笠松
高麗
柏

河房
樂章

卷之三

うれのうひ やう
名寄 ふくわかなみのゆふ

卷之三

御清石
タケ

かのむかとおもひてまのくえをもとむづかうすひづのくわ
 トモ 那須 あき
 トモ みと あき
 猪 中麻奈 万十
 トモ ちく波 あき
 摺 先は隅 あき
 トモ あさす あき
 索 室生 あき
 薮 室 あき
 トモ じくふ あき
 摺 あき
 トモ 同 あき
 因防 室津見 あき
 トモ じくふ あき
 紀伊 由明 あき
 トモ じわけりま あき
 トモ じくふ あき
 トモ じくふ あき
 トモ じくふ あき
 トモ じくふ あき

山猿 太秦 あき
 トモ じくふ あき
 トモ やくえくねと あき
 トモ あき あき
 玄猿 宇麻具多 万十
 トモ うゆくた あき
 トモ うゆく牛空 あき
 トモ うゆくと あき
 トモ 牛滿 万十
 トモ うゆく牛滿の枝の枝 あき
 トモ 海比 万十
 トモ 井野房 あき
 トモ いのま あき
 トモ まゆ あき
 トモ まゆのね あき
 トモ まゆのね あき
 トモ まゆのね あき
 トモ まゆのね あき

風瓶

洞の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

曲有火之

経書

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

通

曲有火之

風瓶

洞の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

の

曲有火之

葉葉姉妹

松

・わのいの松 わきいの うくいと 桜

信房志次

葉葉姉妹のねりあひのねりあひのやまはりのよ

千代

わのいのねりあひのねりあひのやまはりのよ

長赤間

名寄

あらま

名寄

ゆくや

名寄

河内 説良

名寄

おとら

名寄

記伊 脊原一平

万九

よしの

名寄

万士
いのりのじうだけりかくまけりえりのをかほひや
・桃園
・さくらの
・桃園の花はうるさむれいれわいりうからす
・繡葉洞
・玉朱
・りみちわからず花をまつらむとてお葉の内ノ日をかうえよ

正徳四年甲午仲龜吉日

江戸通奉石町十間店

中村屋進七

藏

書肆

大坂北御堂前

毛利田庄太郎

京二條通御幸町西入町

金屋利兵衛

版

正徳四年甲午年

吉昇



京極通商
毛利油庄太郎

金屋利兵衛

藏

